〒822-0024 福岡県直方市須崎町1番1号 電話 (0949) 22-1215 (代表) HPアドレス http://www.nogata-hp.jp/

[Haruka]



## [医療理念]

- 一. 患者中心の医療
- 一. 医療の質の向上
- 一、地域社会に合った手づくりの医療
- 一.安心と信頼を持たれる病院づくり
- 一. 経営の安定と職員満足度の向上

P01 院長挨拶

P03 新任医師紹介

P 04 ご存知ですか?

P08 部門紹介

P11 外来診療のご案内







病院長 田中 伸之介

# 「新型コロナ禍 | での地域医療と当院

昨年の5月号では「未知のウィルスとの闘い、いま医療界が試される」と題してご挨拶いたしました。あれから一年、今年の5月号も望まぬ形で再び「新型コロナ禍」のご挨拶となりました。

今さら言うまでもなく「禍(か)」とは「わざわい」とも読み、「災い」、「災難」、「不幸なできごと」を意味する言葉です。「災い(わざわい)」とは天災のように防ぎようのないものを意味し、「禍(わざわい)」とは「人の力で感染を拡大させない」といった人災的色合いをもったものを指します。「新型コロナ禍」とは新型コロナウィルスが招いた災難や危機的状況を指しますが、人間の英知と努力で必ずや征服できる「禍(わざわい)」と読み取ることもできます。しかしながら、新型コロナウィルスとの闘いは一年を超えてもいまだ収束には至らず、その試練は今なお現在進行形です。医療者の懸命な努力、国民の自粛と自助努力が継続的になされていますが、度重なる変異株の出現などで第2、第3、第4波と感染拡大が止まりません。昨年「医療界が試される」と述べたように、当初は病因論や救急対応、生死を論ずる医療界の問題として取り扱われていましたが、今や見えない敵、新型コロナウィルスによる「災い」、「災難」は医療界だけに留まらず、長引く感染蔓延でリーマンショックを遥かに凌ぐ経済界の問題へと発展し世界的社会的問題にまで進展してきました。旅行業や飲食業を中心とした経済界、文化社会活動を営む芸能文化界、オリンピックとパラリンピックを間近に控えたスポーツ界など影響は多岐に及んでいます。一年延期されたオリンピックとパラリンピック、今年は開催されるのでしょうか?新型コロナワクチン接種が思うように進まない現状で安心、安全なスポーツの祭典は開催できるのでしょうか?日本が、世界がその決断を迫られています。

そうした中でも地域医療の現場は待ったなし、日々、新型コロナを意識しての医療活動を余儀なくされています。

# 1 救急医療

新型コロナ患者の急増に伴う病床の確保、対応にあたる医師や看護師の確保、なかなか進まないワクチン接種など問題は山積です。大都市大病院では急ぎでない手術の中止や延期、救急車受け入れ制限など一般診療への影響も出ています。当院のような地域の中規模病院ですら、外来と入院、検査や手術に際し何らかの影響が出ていることは否めません。予定入院や手術はある程度の調整が可能ですが、緊急手術や救急車対応ではそうは行きません。新型コロナ禍でも救急医療は待ったなしです。最近の救急医療状況を鑑みても、当医療圏だけでなく周辺医療圏からの救急要請が増えたように感じます。広域での救急医療逼迫が想像されます。当院では救急当番日を中心に医師、看護師、検査技師などを増員し少しでも地域救急医療に貢献したいと努力していますが、少ないマンパワーで「新型コロナ禍」での救急患者の受け入れには相当のエネルギーが必要です。図らずも皆様のご期待にお応えできていないこともありますが、限られた資源の中、精一杯の努力を続けたいと思います。

# 2 急性期医療

近年充実してきた外科、整形外科に加え、内科でも少しずつ診療スタッフが整ってきました。以前よりの産業医大(循環器内科・腎臓透析内科)に加え、福岡大学(消化器内科、内分泌糖尿病内科)からも常勤医派遣を頂くようになり、より広い範囲で内科診療が行えるようになりました。当院は常勤医20名足らずの中規模病院です。歴史ある透析センターや循環器センターは地域医療の中心的存在ですが、少数スタッフで全内科の診療領域を完全カバーすることは難しく、大学病院や近隣の医療機関から多くの非常勤医師の支援をいただきながら専門性の高い外来も行っております。診療、診察の一助となれば幸いです(別表)。

# 3 回復期医療

昨年夏、従来の地域包括ケア病棟を一部見直し、回復期リハビリ病棟を新設しました。リハビリスタッフ (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)も大幅に増員し、整形外科疾患や脳神経疾患を中心に回復期医療をスタートさせました。従来のリハビリ室のみならず、回復リハビリ病棟での濃厚なリハビリテーションは心身の早い回復を助長しているようで、病棟は活性化し、入院患者さんの顔つきもとても明るくなりました。従来からの急性期医療に加えて幅広い医療を提供できる環境が整いました。

当院の使命は「良質な医療と介護の提供を通して地域住民の幸せに貢献する」です。

想定外の「新型コロナ禍」でも、地域の救急医療、急性期医療、回復期医療に穴を開けてはなりません。職員一同、精一杯の努力を継続してまいりますが、「新型コロナ禍」においては医療者のみならず、患者様方にも体調の自己管理、健康への配慮、急ぎでない受診の時間厳守などご理解とご配慮を賜りたいと存じます。医療者と行政、そして地域住民一体となって「新型コロナ」を制圧しましょう。一日も早い日常回復を願っています。

# --- 非常勤医師による専門外来 ---

	診察日	医 師	所属		
呼吸器内科	月曜·午後	飛野 和則	飯塚病院 呼吸器内科部長		
肝臓内科	水曜·午前	本村 健太 飯塚病院 肝臓内科部長			
血液内科	金曜·午前	中西 司	産業医大 血液内科		
脳神経内科	水曜·午前	成毛 哲思	産業医大 脳神経内科		
物忘れ認知症外来	水曜·午後	福原 康介	福原医院 院長		
嚥下専門外来	水曜(第2,4)·午後	梅本 丈二	福岡大学病院 摂食嚥下センター長		
心臓血管外科	金曜(第3)·午後	松元 崇	飯塚病院 血管外科部長		
スポーツ整形外来	水曜(第2)·午後	熊谷 達仁	芦屋中央病院 整形外科		
皮膚科	水曜·午前 金曜·午前	筒井 啓太 柴山 慶継	福岡大学病院 皮膚科		



令和3年 4月~



# 外科医員

# 啓能 (たけとみ ひろたか)

新しい環境で右も左もわかりませんが、少しずつ慣れていきますので宜しくお願いします。 腹腔鏡を使用し患者様に負担の少ない手術を心がけ ています。

#### ◆ 最終学歴〔卒業年次〕

福岡大学医学部(2006年)

#### ◆ 所属医局

福岡大学 消化器外科

### ◆ 専門分野

消化器外科

#### ◆資格

日本外科学会専門医 緩和ケア研修会終了



# 内科医員

# 田辺 太郎 (たなべ たろう)

できることを精一杯頑張っていく所存です。 宜しくお願いします。

## ◆ 最終学歴〔卒業年次〕

福岡大学医学部(2011年)

#### ◆ 所属医局

福岡大学 消化器内科

#### ◆ 専門分野

消化器内科

#### ◆資格

日本内科学会認定医



# 第33回ご存知ですか?

# 心不全

循環器内科 立田 穂那実

# 心臓の役目

人間が生きていくためには体の各部分に十分な酸素と栄養を行きわたることが必要です。酸素と栄養を運ぶのが血液でその血液を循環させるポンプの働きを持つのが心臓です。ポンプの役目は大きく2つあり、1つは肺できれいにされた(酸素の多い)血液を全身に送る働き、もう1つは全身で使った汚い(酸素が少ない)血液を受け取る働きです。

ポンプの働きが落ちると心臓が全身に送り出す血液の量(心拍出量といいます)、受け取る量がそれぞれ少なくなり、様々な症状を起こします。

# 心不全とは

我が国の循環器疾患死亡数は癌についで第2位であり、心不全による5年生存率は50%と 予後も決して良くありません。一方でその事実と心不全の怖さについて世間ではあまり知られていないのが現状です。

心不全とは上記の心臓のポンプ機能が低下することにより生じる症候群と定義され、全身への血液供給が低下することにより全身倦怠感や食欲低下、血圧低下などが出現し、全身で使った血液を受け取ることができなくなることで、顔・下肢にむくみが出たり、肺に水が溜まり息切れ症状が認められるようになります。

全身に血液が 十分行き届かない ことによる





# 心不全の原因

心不全の原因は下記が代表的なもので、原因によって治療法が異なります。

- ①高加圧
- ②心筋症(心臓の筋肉自体の病気)
- ③心筋梗塞

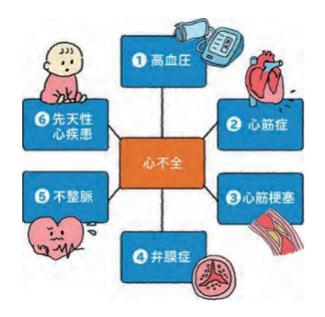
(心臓を栄養する血管(冠動脈)の病気)

4)弁膜症

(心臓の中の血流を正常に保つための弁の異常)

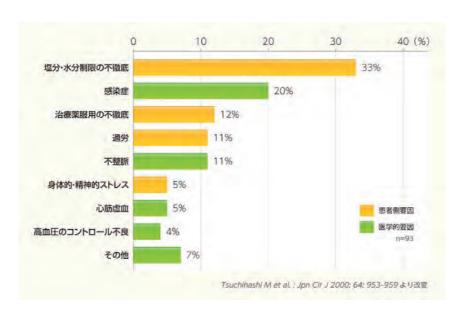
- ⑤不整脈
- ⑥先天性心疾患(生まれつきの心臓病)

## ◎心不全が悪化したときの対応



- ★緊急受診を考えるべき状態 (救急要請も考慮すべきです)
- ・苦しくて横になれない
- ・安静にしていても息苦しさがある
- ・脈が急に早くなり気を失いそうになる
- ★早めの受診が必要な状態
- ・体重が数日で+2kg程度増加している
- ・動いたときに息苦しさがある
- 足にむくみがある

## ◎心不全が増悪する原因



上記表は心不全増悪による再入院の原因ですが、「塩分・水分制限の不徹底」、「過労」、「治療薬の服用の不徹底」などが上位を占めており、これらは患者さん自身の問題と言えます。逆に言えば「塩分・水分制限」、「疲れをためない」、「確実に薬を飲む」といった行動を毎日の生活で気をつければ心不全の再入院は防ぐことができます。

水分制限に関して、具体的には水分摂取は口渇感のあるときのみとします。高齢になればなるほど体内に貯められる水分量は限られてくるため水分摂取しすぎるとそれだけで心臓・腎臓に異常がなくても心不全になります。むやみに水分を過剰摂取するのはやめましょう。塩分に関しては1日摂取量6gを目標に制限を行います。



上記に食品中の塩分量を示しますが、減塩食を作るポイントとしては、

- だし、酢、香辛料を使用し調味料の使用量を少なくする
- 旬の食材を使用する
- 料理の味付けは目分量でなく調味料を計算する

などがあります。ご希望があれば当院受診時に栄養士からの栄養指導でさらに詳しい説明 を聞くことが可能です。

また血圧に関しても75歳未満は家庭血圧125/75mmHg未満を、75歳以上は135/85mmHg未満を目標血圧として管理します。毎日血圧測定するのが理想ですが、最低週に3回は血圧測定し、上記基準以上の血圧が続くようであれば病院を受診し相談しましょう。

かぜなどの感染症は発熱することにより心拍数が上昇し、それにより心臓に負荷をかけて 心不全を発症するきっかけになります。普段からうがい、手洗い等の感染対策を行い、でき るだけ感染症にかからないようにしましょう。

心不全は自己管理を徹底することにより予後を改善させることができます。日常生活で出来ることをしっかりやりましょう。

# 治療

心不全は1つの病気ではなく心臓の働きが低下した結果おきた状態であるため、治療の原則は心臓の働きを低下させたもともとの原因をはっきりさせ、その治療をすることにあります。心臓弁膜症では弁を人工弁と取り替える人工弁置換術などが、狭心症や心筋梗塞が原因であれば冠動脈に風船(バルーン)をいれて膨らませ金属の筒(ステント)を留置したりするカテーテル治療や、外科的に冠動脈をつなぎなおす冠動脈バイパス術などが必要になります。

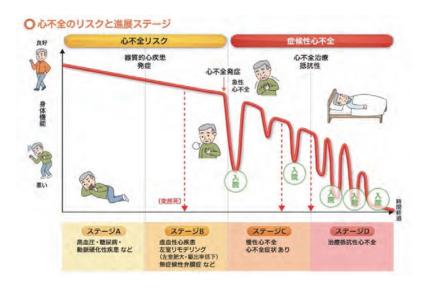
原因に関わらず心不全には下記薬剤を基本薬として導入することが推奨されています。

- アンジオテンシン変換酵素阻害薬、アンジオテンシン受容体拮抗薬:
  - 心臓にかかる負担を軽くする
- ベータ遮断薬:長期的に心臓に障害を与えやすい神経の作用を抑制する
- 抗アルドステロン薬: 長期的に心臓に障害を与えやすいホルモンの作用を抑制する

上記を基本薬として、利尿薬や強心薬、抗不整脈薬などをそのときの状態に応じて追加する ことがあります。

# 心不全の経過

心不全では心臓の働きとともに身体機能が低下していきます。下の図はそれを模式的に示したもので、身体機能は最初ゆっくり低下していきます。やがて呼吸困難などの激しい症状が起こり、心不全を発症します。多くは適切な治療により一旦回復しますが、再び症状を繰り返し、身体機能はさらに低下していきます。また途中で急性悪化して突然死することも珍しくありません。2018年に公表された『急性・慢性心不全診療ガイドライン』では心不全に4つのステージが新たに定められました。ステージAは高血圧や糖尿病などの心不全のリスク因子を抱えている状態です。ステージBは心肥大や心筋梗塞、弁膜症などの心臓の働きに異常が出現した状態です。ステージBを放置するとついに心不全症状が現れステージCへ進行してしまいます。ステージCの状態から心不全を繰り返すとやがて治療が難しくなるステージDとなります。こうなると治療は基本的には緩和医療となります。ステージA、Bは心不全予備軍と言え、この時期に適切な加療を行うことによりステージCへの移行を防ぐことができます。



# まとめ

- ・ 心臓は全身に血液を循環させるポンプの役割を果たす臓器である。
- ポンプ機能が落ちると様々な症状が生じ、これを心不全という。心不全の5年 生存率は50%程度と予後は悪い。
- 心不全は心臓のポンプ機能が落ちることで起こる症状の総症で、様々な原因があり、原因により治療も異なる。
- 心不全による再入院は患者さん自身が日常生活に気をつけることで防ぐことができる。
- 心不全予備軍(ステージA, B) から心不全(ステージC, D)に移行しないように 心不全リスクがある時点で症状がなくても一度医療機関で精査し、必要あれば 治療したほうがよい。

# 部門紹介

# ·III 放射線部 IIII

放射線技師長 倉田 忠

私たち診療放射線技師は、「病院でレントゲン写真を撮影している技師」と言う認識が一般的だと思います。世の中はアナログからデジタルへ変化していますが、それと共に医療の現場でもデジタル化が進んでいます。病気を探すためのX線(放射線)を利用した写真は、現在、コンピューターを利用して画像の処理を行い、病気がよりわかりやすい画像へと変化させています。そのような作業も診療放射線技師の重要な仕事となっています。

病気の診断で利用されるX線画像は、ヴィルヘルム・コンラート・レントゲンが1895年X線を発見し病気の検査、診断に利用し始めて以来、X線を含む放射線や磁気を利用した多岐にわたる画像診断に進化してきました。近年の画像診断機器は、コンピューターの発達に比例するかのように患者さんに優しく速く正確な診断用画像を制作できるようになってきました。診療放射線技師は、これらの機器を最大限有効に利用できるように、日々研鑽しています。

以下に当院放射線部門の画像診断機器のご紹介をしたいと思います。

### X線撮影装置

フィルムを使用しないデジタル化されたCR (Computed Radiography) 装置です。 胸部、腹部、骨など、全身のX線撮影を行います。※図 1 参照

### 透視撮影装置

X線を使ってリアルタイムに観察部位を映し出すシステムを利用し、目的部位の形態・動態を造影剤等を用いて描出する検査です。

また、X線透視を使った処置、治療も多岐にわたって行います。※図2参照

## CT撮影装置

CT (Computed Tomography) とは、人体に多数の方向からX線を照射し、身体の断面を画像化する装置です。 1 度に複数枚の断層画像を撮影することで、広範囲の精密検査が短時間で可能です。※図3参照

## MRI撮影装置

MRI(Magnetic Resonance Imaging)とは磁気共鳴画像診断の略称で、磁石(磁力)とラジオのような電波を利用して体の中を撮影し、コンピュータを用いて体の内部構造を画像化する装置です。※図4参照

## 血管造影撮影装置 バイプレーン心臓専用

当院ではキャノン社製Infinix Celeve-i INFX-8000V バイプレーンが稼動しています。 最新のフラットパネルディテクタ(FPD)を搭載した装置で、以前より少ない線量でも、 解像度が高い画像が得られ、バイプレーンなので1回の撮影で2方向が見ることができ、 心臓から下肢までの広範囲における検査、治療に活躍しています。※図5参照

## 骨量測定装置

骨密度(骨量)検査とは、骨の強度測定のことです。おもに、骨粗鬆症(こつそしょうしょう)を診断する検査です。

当院では、骨密度検査においてDEXA(dual-energy X-ray absorptiometry)法を用いており、骨粗鬆症の診断を正確かつ安全に行うことができます。測定部位は、腰椎、大腿骨を撮影して測定を行います。※図6参照





図1. X線撮影装置



図2. 透視撮影装置



図3. CT撮影装置



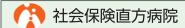
図4. MRI撮影装置



図5. 血管造影撮影装置



図6. 骨量測定装置



## 外来診療のご案内

TEL0949-22-1215

※受付時間は、8:30~11:30、13:30~16:30

令和3年6月1日現在

内科(腎臓内科・無呼吸症候群・神経内科除く)は、午後休診。土曜日は、全科休診

(診療科によって受付・診療時間が異なりますので、ご確認ください)

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	備考	
一般内科·総合内科		坂東 健一郎	日吉 哲也*	加來庸一郎*	奥野 宏晃*	石橋 俊明*	内科診察は原則、午前 中のみです。但し、急 患はこの限りではあり ません。専門領域以外	
肝臓内科			坂本 茂	木村 健太*	坂本 茂			
消化器内科			田辺 太郎	田辺 太郎		田辺 太郎		
糖尿病・内分泌科	8:30~11:30	杉本 薫	杉本 薫	小松 志保*	杉本 薫			
循環器内科		平川 晴久	五十住 和彦	穴井 玲央*	平川 晴久	五十住 和彦		
		立田 穗那実	荻ノ沢 泰司*		北野 哲司*	立田 穗那実		
	13:30~16:30				五十嵐 友紀*		ません。等门領域以外     の一般内科の診療も致     します	
脳神経内科	8:30~11:30			成毛(##)哲思*				
血液内科	8:30~11:00					中西 司*	]	
腎臓内科			坂東 健一郎		坂東 健一郎			
物忘れ・認知症外来	13:30~16:30			福原 康介*				
呼吸器内科		飛野 和則*						
外科	8:30~11:30	田中 伸之介 兒玉(コダマ)利勝 坂牧 仁	田中 伸之介 武富 啓能	兒玉(コダマ)利勝 坂牧 仁 武富 啓能	田中 伸之介 武富 啓能	田中 伸之介 兒玉(ユダマ)利勝 坂牧 仁	午後は手術の為休診と なることがあります。	
整形外科	8:30~11:30 (新患:8:30~ 11:00)	西田智	西田智	古賀 陽一	西田智	西田 智		
		濱田 大志* (第1·3·5)	古賀 陽一	樋髙 由久	古賀 陽一	川崎 展* (第1·3·5)	午後は手術の為休診と なることがあります。	
		清水 健太* (第2·4)	樋髙 由久		樋髙 由久	山根 宏敏* <sup>(第2·4)</sup>		
			大友 —* <sup>(第2·4)</sup>					
骨粗鬆症外来	13:30~16:30		西田 智 (予約のみ)		西田 智 (予約のみ)		紹介の方のみとなります。	
スポーツ整形外来	13:30~16:30			熊谷(タマカ゚エ)達仁 (第2のみ)				
心臓血管外科	13:30~16:30					松元 崇*	第3金曜午後のみ	
泌尿器科	8:30~11:30 13:30~16:30	濵﨑 隆志	濵﨑 隆志	濵﨑 隆志 木室 里依子*	濵﨑 隆志	濵﨑 隆志	水曜の午後は手術の為休診 となることがあります。	
耳鼻咽喉科	8:30~11:30 13:30~16:30	鳥谷(トリサ)陽一	鳥谷(トリヤ)陽一		鳥谷(トリヤ)陽一		金曜日午前のみ	
皮膚科	8:30~11:00			筒井 啓太*		柴山 慶継*		

\*は、非常勤医です。

#### ※診察予約の変更は、月曜日~金曜日13:30~16:30(但し、土日祭日は除く)



急患の場合、この限りではありません。ご連絡の上、保険証・診察券を お忘れないよう、気を付けてお越し下さい。 TEL 0949-22-1215

#### 【最寄の交通機関】

JR福北ゆたか線直方駅より徒歩約1分平成筑豊鉄道直方駅より徒歩約8分筑豊電鉄筑豊直方駅より徒歩約8分西鉄バス西鉄直方バスセンターより徒歩約1分JRバス直方駅バス停より徒歩約1分